

医学生をつといで in 滋賀

「障害」について学習しました！！

2018年12月22日(土)～23日(日)、「第39回民医連の医療と研修を考えるつといで12月つといでin滋賀」が開催されました。全国から、237名が集まり、宮城からは学生8名が参加しました。

「障害」に焦点を当て、学習講演やSGDを行って学びを深めました。1日目は、学習企画として佛教大学社会福祉学部教授の武内一医師より「障害とは何か」というテーマで講演していただきました。武内医師からは、障害者権利条約、出生前診断と強制不妊手術の問題、障害をどう考えるべきなのかなどについて話して頂きました。学生からは、「障害を持っている人は、家族がいなくなった時に1人になってしまう。それが当たり前になっている社会はいけないと思う。」「すべての人が心、体、感覚が満たされている事が重要。」などの意見が述べられました。2日目は、研修企画として1～4年生は香川民医連高松平和病院の原田真吾医師より「みんなで良い医師になろう!」、5～6年生は島根民医連松江生協病院の眞木高之医師より「みなさんはどんな医師になりたいですか?」というテーマで講演していただきました。多くの医学生が求められている、良い医師になりたいという自身のキャリアアップと、国民の立場に立った医療を行いたいという2つの視点を持った医師になるにはどうすれば良いのかなどについて話して頂きました。その後のSGDでは「社会的視点でいのちを守る医師になれるように多職種と交流する機会が多い研修をしたい。」などの意見が述べられました。



次回のつといは「労働者の健康」をテーマに、3月21-23日大阪で開催されます！！

坂総合病院医学生だより

坂坂

〈発行〉
坂総合病院
医学生と共に歩む委員会
連絡先・滋賀市錦町16-5
☎ 022-367-9007
2019年2月1日
No. 82



坂総合病院HP
「医学生のひろば」より
過去の坂坂をご覧ください。

～研修1年目を振り返って～

研修を振り返って、研修医1年目の

桑嶋理沙先生に質問にこたえていただきました！

？ まず初めに、桑嶋先生が、初期研修先として坂総合病院を選んだ理由を教えてください。

病院見学に来たときに、研修医の先生が主治医としてイキイキと働いている姿が印象的でした。他の病院が診療科を1～2か月でローテートするのに対し、1つの診療科を3か月間じっくり診ることができるのも選んだ理由のひとつです。初期研修の2年間で内科医の土台をつくれるよう頑張ります。

？ 1年間の研修を通して、特に印象に残っていることや嬉しかったことを教えてください。

患者さんと向き合うなかで、「先生に出会えて良かった」と言ってもらえることです。医師になっただけで、出来ることは少ししかありませんが、患者さんにとっては、一人の立派な医師なんだと実感することが多いです。内科外来も担当するので、自分が受け持った患者さんが退院後に私服姿で外来にきてくれると、涙が出そうになります。



？ 初期研修先に坂総合病院を選んで良かったと思うところはどんなところですか？

1番は、教育熱心な先生が多いところです。研修医が様々な経験できるように、色々な機会を与えてくださいます。色々な経験を通して、度胸が少しづつきました。坂病院の当直は、一人で診察し、帰宅判断をしたり(もちろん相談はできます)、主治医制なので、患者急変のファーストコールは自分になるので、さまざまな状況を経験できます。4月には怖くてできないと思っていたことが、気付いたら少しずつできるようになっていました。



研修1年目を振り返って、桑嶋先生の思いを聞かせていただきました。研修では、病棟業務、一般外来、当直、在宅診療、救急車当番などの研修を行います。坂坂をご覧の医学生の皆さん、ぜひ当院の研修を見学に来ていただければと思います。職員一同お待ちしております！又、医師講演や高校生一日医師体験など、様々なイベントも企画しています。皆さんのご参加、お待ちしております。

教えて！先生！～試験直前編～



予備校生Aくん

試験日前日の過ごし方を教えてください。

他県から来たため、前日に大学の下見及び行き道や交通手段などを確認しました。ホテルでは、何か好きなものを食べたり、とりあえず寝たりしてリラックスして過ごしました。



高校生Cさん

面接で聞かれた質問及び質問に対する回答を教えてください。

【質問】地域医療にはどんな医師が必要だと思いますか？
【回答】どんな環境でも、その環境でベストを尽くそうと考えられる人だと思います。医学的な治療だけではなく、患者背景を考慮した治療を選択できる人です。医学的に正しい治療＝その患者に一番適した治療という方程式が必ずしも成り立たない時が多々あるからです。



医学生Bくん



2年目医師D医師

次回の坂坂の発行は5月の予定です。

坂坂で読んでみたい記事はございませんか？
医師やメディカルに聞いてみたいこと・病院のこと・勉強方法についてなど・・・
ぜひ、こちらまでご意見をお寄せください！

igakusei@miyagi-min.com

WinterMeeting2018開催!

12月26日～27日に松島にて、ウィンターミーティングが開催されました。ウィンターミーティングは、マッチングした6年生の国試合格の激励・奨学生同士の交流・学習会や交流会を通じて、宮城県医連や坂病院を知ってもらい、研修決意につなげることを目的に開催しています。全体を通して、医学生27名・医師18名・職員26名が参加しました。

学習企画

「経済的事由による手遅れ死亡事例」について学習しました。

2005年から毎年、全日本民医連に加盟する全国639の医療機関を対象にピックアップし調査・分析を行っています。お金がなくて医療機関にかかることを我慢し、耐え切れずに受診したときには手遅れだった一など、経済的理由で治療が遅れ死亡した事例が2017年に63件ありました。

今回は、実際にあった事例の問題点を捉え、背景にある患者さんの生活実態や社会問題について考えること、医師として何が出来るかを考え、自らの医師像を深めること等を目的に学習しました。

SGD

学習企画では、医師7名・看護師4名・放射線技師1名・理学療法士2名・MSW2名・組織課1名・診療サービス課1名が参加し、6つの班にわかれてSGD(スモールグループディスカッション)を行いました。SGDは、①事例の背景や問題になりそうな「気になる点」をあげること、②どのような施策や制度があればこの事例を防ぐことができたか、③手遅れ死亡事例を生まないために私ができることのポイントに行いました。チューター役の学生さんを中心に、活発な議論が行われました。医師・コメディカル、様々な視点から意見が出され、参加者にとって学びの多い有意義な時間となりました。

交流会

交流会では、参加学生からひとり一言、参加医師全員から学生に向けて、坂病院での研修の魅力や医師として働く喜びなどお話ししていただくほか、国試激励の言葉を頂きました。その後2019年度入職予定の6年生から入職へ向けた意気込みを話してもらいました。

学習企画に参加した学生さんより、感想を頂きました!

○実際の症例を用いて行われたので、とても良かったです。医師を交えて話すことができたので、現実を知れて良かったです。

○色々な視点での意見が聞けて、とても勉強になりました。勉強するモチベーションが上がりました。

○班内で意見交換をしたことで、より自分の中での理解や主張が深まりました。

○良い雰囲気のおかげで話し合いができてよかったです。

○今年も有意義な議論となりました。難しいテーマだったが、班のみんなで多様な意見を出し合い、何が出来るかしっかり考えることができました。

○授業などでは扱われない症例であり、考える良い機会となりました。

○実際の場にたったときに、社会的背景にも目を配り続ける必要があると感じました。



司会：武蔵Dr(研修医1年目)



北海道・東北地協医学生合同合宿 in 東京

なぜ、医師が平和問題に取り組むのか？
～ 戦争と医師 過去・現在・未来～



参加した学生さん



上：ガイドの鳥居さん
 戦跡巡り FW

11月23～25日(金～日)に北海道・東北地協合同医学生合宿が東京で開催されました。宮城からは医学生10名(東北大7名、東北医科薬科大3名)と専任者4名が参加し、全体では医学生28名、医師3名、専任者16名、合計47名の参加でした。

1日目は陸軍軍医学校跡地周辺(新宿周辺)の戦跡をめぐるFWを行い、京都民医連中央病院名誉院長の吉中丈志医師から「なぜ、医師が平和問題に取り組むのか?～医療倫理の観点から～」という題でご講演をいただき、グループディスカッションを行いました。夜は大交流会を行い、他県の学生たちとともに大いに盛り上がりました。

2日目は靖国神社や遊就館、戦災資料センターを回るFW(フィールドワーク)を行いました。FW後はグループディスカッションを行い、「靖国神社・遊就館は過去の戦争を肯定し多くの人の犠牲があって平和が成り立っているという視点だったが、それが本当の意味での平和なのか疑問だった」などの意見が出されました。

3日目は勤医協札幌病院の猫塚義夫医師から、「パレスチナ難民医療支援活動にみるイスラエルの軍事侵攻・支配と健康破壊の実態」という題で講演をしていただきました。現在でも紛争が続いているパレスチナ自治区の凄惨な現状を学びました。

参加した学生からは、「多くの学生の意見が聴けて、自分の視野を広げることができた」「医師は健康を援助することが目的で、健康は平和が条件という事を聞き、だからこそ医師は平和を学ばなくてはいけないと思った。」といった感想が寄せられました。



東京大空襲体験談
 貴重なお話も聴きました



吉中医師の講演
 医療倫理の課題を
 考えました

第1回医学科受験生向け模擬面接

11月10日(土)に、宮城民医連事務所にて「第1回 医学部受験生のための模擬面接」を開催し、医学部受験を控えている高校3年生が4名参加しました。参加した生徒からは「初対面の人との面接練習は初めてだったので緊張しましたが、アドバイスもしてもらえ、入試に向けてとても良い経験となりました」、「準備や対策をしていなかった質問もされて答えられませんでした、今後に向けた対策の参考になりました」など感想が寄せられ、今回の模擬面接を通して様々なことを学ぶことができた様子でした。

終了後は、医学生と懇談をしました。入試のアドバイスやこの時期の過ごし方、心構え、医学部に入ってから生活、将来どんな医師になりたいかなどのお話をしました。

次回は、2/15、25に仙台駅前会議室で行います。



医学科受験生向け 模擬面接

●医師を目指している受験生のみへ●
試験に欠かせない面接、どうしても緊張してしまうのですね。初対面の面接官を前に、本試験と同じような緊張感を持って、練習してみませんか？

<p>第1回 日時: 11月10日(土)12:45集合 13:00開始 場所: 宮城民医連事務所 4階会議室 <small>(地下鉄北四番丁駅徒歩10分、バス交通局東北大大学病院前徒歩2分)</small></p> <p>第2回 日時: 2月15日(金)17:45集合 18:00開始 場所: アエルTKPガーデンシティ30階カンファレンスルーム30C <small>(仙台駅徒歩2分) ※お弁当を用意します</small></p> <p>第3回 日時: 2月25日(月)18:45集合 19:00開始 場所: アエルTKPガーデンシティ30階カンファレンスルーム30C <small>(仙台駅徒歩2分) ※お弁当を用意します</small></p>	<p style="text-align: center;">スケジュール</p> <p>オリエンテーション 面接10分、振り返り10分</p> <p style="text-align: center;">内容</p> <p>個別面接、グループ討論、小作文など 志望大学に合わせた内容で行います。 医学生との懇談も準備しています。</p>
--	--

●申し込み・お問い合わせ●
宮城県民医連医務機関連合会
〒988-0801 仙台市青葉区本町1-8-18 田村ビル5階
TEL:022-263-2601 E-mail: ligakusai@miyagi-min.com
HP: 高校生・予備校生向け企画誌のフォーマットまたは、LINEより申し込み下さい。
第1回の締切は11月5日(月)です。2月15日、25日は当日まで申し込みOK!

LINE(金)
 HP



後藤恵医師



武藤ゆうみ看護師



金森翔平薬剤師

個別相談の様子



古川学園医師講演開催!

11月5日(月)に、古川学園高等学校にて医師講演会を開催しました。昨年に引き続き、薬剤師、看護師と合同で講演を行いました。参加者は医療系を志望する高校1年生と中学3年生の生徒で、合計29名でした。

医師講演では、古川学園のOGである後藤恵先生に医師を目指したきっかけ、高校時代から現在の生活まで多岐に渡る内容をお話いただきました。また、金森翔平薬剤師(つばき薬局多賀城店)と武藤ゆうみ看護師(坂総合病院6階病棟)からはどんな勉強が必要か、実際の仕事内容などをお話いただき、参加した生徒は熱心に聴いていました。個別相談にも9名の生徒が勉強方法や実際の仕事内容など、自分の悩みや疑問を相談していました。先生方からアドバイスをもらい、学生も大満足の様子でした。

「医師を目指そうという気持ちの方が強くなった」、「先生方から勉強方法や試験対策、心構えなどを教えてもらえてとてもためになった」などの感想があり、講演を通して医療系の仕事を考えるよい機会となり、勉強へのモチベーションを上げるきっかけになったのではないのでしょうか。